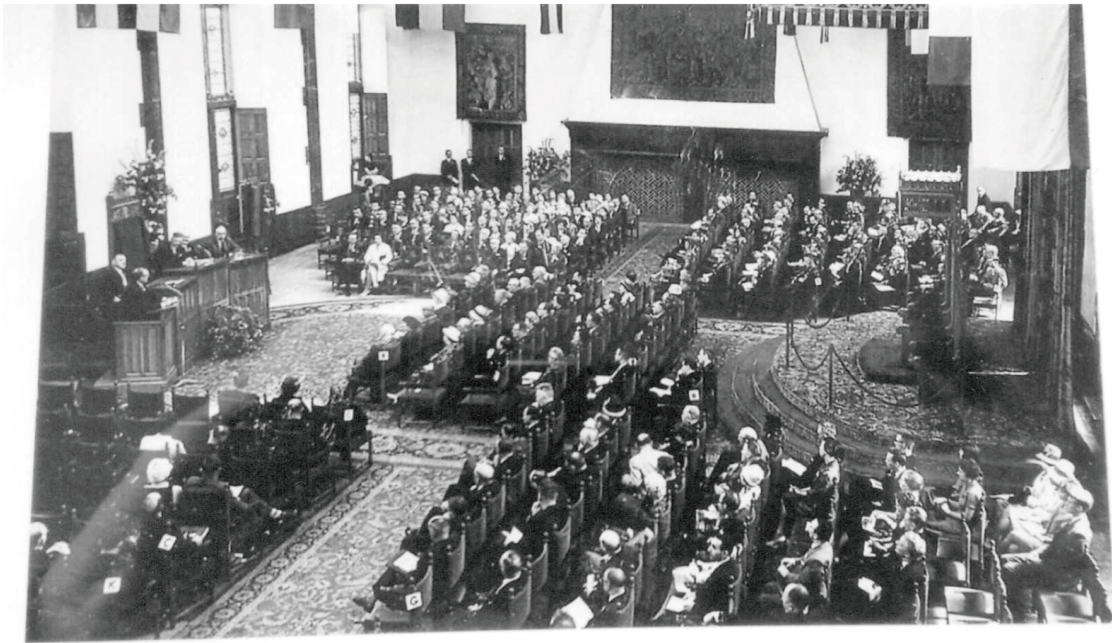
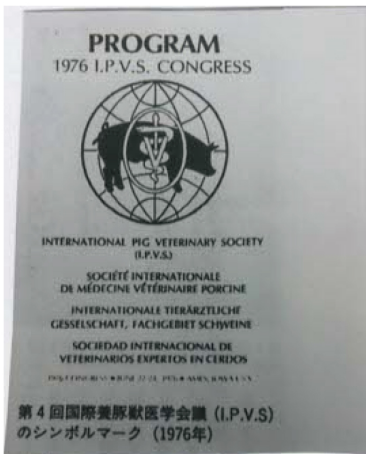


父の国際学会特別（基調）講演の中から



第4回国際家畜繁殖学会の開会式（1961年6月）オランダ国ハーグ、Knight's Hallにおいて「豚における人工授精の研究と実際」（日本から基調講演者に初めて指名される）

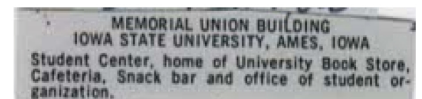
第4回 国際養豚獣医学会議（IPVS）基調講演（米国アイオワ州立大学）1976年



第4回国際養豚獣医学会議（I.P.V.S）の会場
米国アイオワ州立大学、1976年



この写真の右上の室が宿舎でした



「東洋における豚肉生産についての基調講演」（この国際学会議でアジアから初めての基調講演に指名）

海外出張

1. 濠州 昭和15年7月～9月(1940)
輸入めん羊の護送と畜産状況視察
2. 英国並びにデンマーク 昭和33年9月～11月(1958)
種豚購買及び畜産技術研究調査
3. ビルマ 昭和36年2月～4月(1961)
豚の人工授精技術指導
4. イタリア, オランダ, ドイツ及びアメリカ 昭和36年5月～11月(1961)
国際畜産学講座講師, 国際学会議出席, 学術研究(ミネソタ大学)
5. 中華民国 昭和37年10月～11月(1962)
豚の繁殖, 人工授精技術指導
6. 沖縄 昭和39年4月(1964)
豚の改良繁殖, 畜産事情視察
7. ソヴィエト連邦 昭和40年6月～7月(1965)
訪ソ農業視察団員として家畜の改良繁殖事業の状況視察
8. 南西諸島(沖縄) 昭和42年8月(1967)
畜産シンポジウムおよび畜産講習会の講師
9. フランス, 英国, デンマーク, オランダ, ドイツ, イタリアおよびアメリカ
昭和43年7月(1968)
国際学会議出席(フランス), 畜産研究上の諸問題について連絡協議
10. シンガポール 昭和45年12月～46年3月(1970～1971)
FAO エキスパートとして豚の人工授精技術, 研究指導
11. 西ドイツおよびキューバ 昭和47年5月～7月(1972)
国際学会議出席(西ドイツ), 家畜人工授精技術交流(キューバ)

12. アメリカ, 英国, フランス, デンマークおよびポーランド 昭和 51 年 6 月～7 月 (1976)
国際学会議出席, 畜産研究状況視察
13. 台湾 昭和 52 年 5 月 (1977)
国際セミナー出席 (ASPAC)
14. 台湾 昭和 52 年 11 月 (1977)
養豚研究会議出席
15. 韓国 昭和 53 年 5 月 (1978)
家畜繁殖並びに家畜人工授精学術大会における特別講演及び関係機関の視察等
16. ユーゴスラビア 昭和 53 年 6 月 (1978)
国際学会議出席
17. ソヴィエト連邦 昭和 54 年 6 月～7 月 (1979)
国際学会議出席, 畜産学, 獣医学の教育研究視察
18. 台湾 昭和 54 年 12 月～55 年 1 月 (1979～1980)
豚の人工授精に関する技術・研究の指導
19. スペイン, フランス, ドイツ, デンマーク 昭和 55 年 6 月～7 月 (1980)
国際学会議出席, 関係大学・研究機関の訪問・見学
20. 韓国 昭和 57 年 5 月 (1982)
家畜繁殖研究会学術大会出席
21. メキシコ, アメリカおよびカナダ 昭和 57 年 7 月～8 月 (1982)
国際学会議出席, 畜産学教育, 研究状況視察
22. 台湾 昭和 57 年 11 月 (1982)
養豚研究会議出席
23. フィリピン 昭和 58 年 3 月 (1983)
国際セミナー出席
24. ベルギー 昭和 59 年 7 月 (1984)
国際学会議出席

25. 韓 国 昭和 60 年 5 月 (1985)
国際学会議出席

26. 台 湾 昭和 61 年 11 月 (1986)
養豚研究会議出席

27. 台 湾 平成 2 年 11 月 (1990)
養豚研究会議出席

28. 中 国 (中華人民共和国)
上海・西安・北京を中心に関係学会・協会との連携・協議

「丹羽太左衛門の略歴と業績」より